

1. 工事概要は1/4頁目の計画書に記入したものが3/4頁目に反映されます。

計画書(建り法11条通知対応)は1/4,2/4頁目に記入  
実施書(建り法18条報告、センサ対応)は3/4,4/4頁目に記入

※最後に必ず印刷して確認してください。

表面

再生資源利用実施書

建設資材搬入工事用

「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再生資源化報告」、「H30建設副産物実態調査」対応版

発注機関の選択間違いに注意

元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入

1 工事概要

発注機関を選択	大分類 国土交通省 中分類 関東地方整備局 小分類 大宮国道事務所	発注担当者チェック欄	発注機関コード 834700	法人番号 0123456789012	請負会社名 (株)△建設	建設業許可の場合 00 国土交通大臣 号 012345	建設業許可の種別 66000 その他の加盟団体又は団体に属さない	発注年月日 H. 30年 8月 15日
			担当者 建設太郎	TEL 0xx-xxx-xxxx	会社所在地 埼玉県さいたま市中央区大戸1-1-1	TEL FAX 0xx-yyy-yyyy 0xx-yyv-zzzz		工事責任者 副産物太郎

工事名	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	工種を選択	改良(道)	工事種別コード	B-1	請負金額	10000	工期	平成30年4月5日から 平成30年8月8日まで
工事施工場所	埼玉県 さいたま市 中央区	住所コード	11105	着工年月費	竣工年月日				

万円単位

建築面積	0 m <sup>2</sup>	階数	地上 0階 地下 0階
延床面積	0 m <sup>2</sup>		
構造	0		
用途	0		

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用実施

単位と選択間違いに注意

分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量 小数点第三位まで	再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)		再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元：施工条件 種類 内容	再生資材の供給元場所住所	再生資源 利用率 B/A×100	
					再生資材の名称	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで					
特定 建設 資材	コンクリート	普通21-8-20		12,000 トン	再生コン(H)	5,000 トン	〇〇〇〇(株)×工場	6.他	埼玉県さいたま市緑区〇〇1-1-1	11109	100%
	2.再コン(H)			5,000 トン							29%
	合計			17,000 トン							100%
	コンクリート及び鉄から成る建設資材				0.000 トン						
木材	合計			0.000 トン							0%
	アスファルト	1.粗粒		20,000 トン	1.再粗粒	20,000 トン	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100%
	2.密粒		10,000 トン	2.再密粒	10,000 トン	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100%	
	合計			30,000 トン							100%
土砂	1.一種		16,000 締めm <sup>3</sup>	1.一種	16,000 締めm <sup>3</sup>	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100%	
	合計		16,000 締めm <sup>3</sup>		16,000 締めm <sup>3</sup>						100%
	砕石	1.クラ		20,000 m <sup>3</sup>	1.再クラ	20,000 m <sup>3</sup>	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100%
	2.粒調		695,000 m <sup>3</sup>	2.再粒調	695,000 m <sup>3</sup>	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県川口市〇〇〇3-2-1	11203	100%	
合計			715,000 m <sup>3</sup>		715,000 m <sup>3</sup>					100%	
その他の建設資材	塩化ビニル管										0%
	継手										0%
	石膏ボード										0%
	合計			0.000 トン		0.000 トン					0%
その他の建設資材										0%	
合計				0.000 トン		0.000 トン					0%

現場内利用があった場合は、次頁の2.建設副産物搬出実施にも必ず記入

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意

品目毎の供給元施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

<p>コード*5 コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.生コン(バージン骨材)</li> <li>2.再生生コン(Co再生骨材H)</li> <li>3.再生生コン(Co再生骨材M)</li> <li>4.再生生コン(Co再生骨材L)</li> <li>5.再生生コン(その他再生材)</li> <li>6.無筋コンクリート二次製品(バージン骨材)</li> <li>7.無筋コンクリート二次製品(リユース品)</li> <li>8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)</li> <li>9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)</li> <li>10.その他</li> </ol> <p>コンクリート及び鉄から成る建設資材について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨材)</li> <li>2.有筋コンクリート二次製品(リユース品)</li> <li>3.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)</li> <li>4.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)</li> <li>5.その他</li> </ol> <p>木材について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.木材(ボード類を除く)</li> <li>2.木質ボード</li> </ol> <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.粗粒度アスコン</li> <li>2.密粒度アスコン</li> <li>3.細粒度アスコン</li> <li>4.開粒度アスコン</li> <li>5.改質アスコン</li> <li>6.アスファルトモルタル</li> <li>7.加熱アスファルト安定処理路盤材</li> <li>8.その他</li> </ol> <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.第一種建設発生土</li> <li>2.第二種建設発生土</li> <li>3.第三種建設発生土</li> <li>4.第四種建設発生土</li> <li>5.浚渫土以外の泥土</li> <li>6.浚渫土</li> <li>7.土質改良土</li> <li>8.建設汚泥処理土</li> <li>9.再生コンクリート砂</li> <li>10.山砂、山土などの新材(採取土、購入土)</li> </ol> <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.クラッシャーラン</li> <li>2.粒度調整砕石</li> <li>3.鉱さい</li> <li>4.単粒度砕石</li> <li>5.くり石、割り石、自然石</li> <li>6.その他</li> </ol> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.硬質塩化ビニル管</li> <li>2.その他</li> </ol> <p>石膏ボードについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.石膏ボード</li> <li>2.シーリング石膏ボード</li> <li>3.強化石膏ボード</li> <li>4.化粧石膏ボード</li> <li>5.石膏ラスボード</li> <li>6.その他</li> </ol> <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード*6 アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.表層</li> <li>2.基層</li> <li>3.上層路盤</li> <li>4.歩道</li> <li>5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)</li> </ol> <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.道路路床</li> <li>2.路床</li> <li>3.河川築堤</li> <li>4.構造物等の表込材、埋戻し</li> <li>5.宅地造成用</li> <li>6.水田埋立用</li> <li>7.ほ場整備(農地整備)</li> <li>8.その他</li> </ol> <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.舗装の下層路盤材</li> <li>2.舗装の上層路盤材</li> <li>3.構造物の表込材、基礎材</li> <li>4.その他</li> </ol> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.水道(配水)用</li> <li>2.下水道用</li> <li>3.ケブル用</li> <li>4.農業用</li> <li>5.設備用</li> <li>6.その他</li> </ol> <p>石膏ボードについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.壁</li> <li>2.天井</li> <li>3.その他</li> </ol> <p>その他の建設資材について (利用用途を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード*7 コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生生コン(Co再生骨材H)</li> <li>2.再生生コン(Co再生骨材M)</li> <li>3.再生生コン(Co再生骨材L)</li> <li>4.再生生コン(その他再生材)</li> <li>5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)</li> <li>6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)</li> <li>7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)</li> <li>8.その他</li> </ol> <p>コンクリート及び鉄から成る建設資材について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.有筋コンクリート二次製品(リユース品)</li> <li>2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)</li> <li>3.再生有筋コンクリート二次製品(その他再生材)</li> <li>4.その他</li> </ol> <p>木材について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生木材(ボード類を除く)</li> <li>2.再生木質ボード</li> </ol> <p>アスファルト・コンクリートについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生粗粒度アスコン</li> <li>2.再生密粒度アスコン</li> <li>3.再生開粒度アスコン</li> <li>4.再生改質アスコン</li> <li>5.再生改質アスコン</li> <li>6.再生アスファルトモルタル</li> <li>7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材</li> <li>8.その他</li> </ol> <p>土砂について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.第一種建設発生土</li> <li>2.第二種建設発生土</li> <li>3.第三種建設発生土</li> <li>4.第四種建設発生土</li> <li>5.浚渫土以外の泥土</li> <li>6.浚渫土</li> <li>7.土質改良土</li> <li>8.建設汚泥処理土</li> <li>9.再生コンクリート砂</li> </ol> <p>砕石について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生クラッシャーラン</li> <li>2.再生粒度調整砕石</li> <li>3.鉱さい</li> <li>4.その他</li> </ol> <p>塩化ビニル管・継手について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生硬質塩化ビニル管</li> <li>2.その他</li> </ol> <p>その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)</p>	<p>コード*8 再生資材の供給元について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.現場内利用</li> <li>2.他の工事現場(内陸)</li> <li>3.他の工事現場(海面)</li> <li>4.再資源化施設</li> <li>5.土砂ストックヤード</li> <li>6.その他</li> </ol>	<p>コード*9 施工条件について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.再生材の利用の指示あり</li> <li>2.再生材の利用の指示なし</li> </ol>
--	--	---	---	--

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

# 様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工事用は解体分と新築分に分けてエクセルファイルを作成

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出実施

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

単位間違いに注意

建設副産物の種類	①発生量 (削減等) =②+③+④ 小数第三位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ (%)
		②利用量	③現場内改良分	④減量化量	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内 容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千メートル	搬出先の種類	④現場外搬出量 小数第三位まで	うち現場内改良分	⑤再生資源利用促進量	
コンクリート塊	112,000 トン	40,000 トン			搬出先1: ○○リサイクル(株)○○工場	民間		埼玉県上尾市××1-2-3	1219	10	5中合外	72,000 トン		72 トン	100%
建設発生木材A (木材、製材など多数 材が集積されるもの)	10,000 トン				搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		埼玉県川越市△△2-2-2	1201	15	5中合外	8,000 トン		8 トン	80%
アスファルト・ コンクリート塊	302,000 トン				搬出先1: (株)○○ 中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区□□3-3-3	1106	5	7焼却				
その他がれき類	1,000 トン				搬出先1: ○○道路(株)××工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	1107	15	5中合外			302 トン	100%
建設発生木材B (木材、製材など多数 集積されないもの)	2,000 トン				搬出先2: □□処分場	民間		1-2-3	1107	15	5内陸処分	1,000 トン		0 トン	0%
建設汚泥	300,000 トン				搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		2-2	1201	15	5中合外	2,000 トン		2 トン	100%
金属くず	27,000 トン				搬出先2: △△(株)	民間		6-6	13123	40	5中合外	300,000 トン		300 トン	100%
廃塩化ビニル管・継手	1,200 トン				搬出先1: ○○金属(株)	民間		7-7-7	1107	13	1売却	27,000 トン		27 トン	100%
廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	1,800 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間		4-4	1219	15	5中合外	1,200 トン		1.2 トン	100%
廃石膏ボード	0.00 トン				搬出先2: ○○リサイクルセンター	民間		埼玉県上尾市■4-4-4	1219	15	5中合外	1,800 トン		1.8 トン	100%
紙くず	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0 トン	0%
アスベスト (飛散性)	0.000 トン				搬出先2: ○○リサイクルセンター	民間								0 トン	0%
その他の分別 された廃棄物	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間								0 トン	0%
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000 トン				搬出先2: ○○リサイクルセンター	民間								0 トン	0%
第一種 建設発生土	2020,000 地山m <sup>3</sup>	20,000 地山m <sup>3</sup>			搬出先1: ■■■■工事	公共	A指定処分	東京都港区○○7-10-20	13103	33	2他工場	1,300,000 地山m <sup>3</sup>		2000 地山m <sup>3</sup>	100%
第二種 建設発生土	0.000 地山m <sup>3</sup>				搬出先2: ☆☆☆☆工事	民間	A指定処分	東京都足立区○○3-2-1	13121	28	5他工場	700,000 地山m <sup>3</sup>		0 地山m <sup>3</sup>	0%
第三種 建設発生土	1025,000 地山m <sup>3</sup>				搬出先1: ★★★★★工事	公共	A指定処分	東京都港区××1-3-5	13103	32	2他工場	603,000 地山m <sup>3</sup>		633 地山m <sup>3</sup>	59%
第四種 建設発生土	0.000 地山m <sup>3</sup>				搬出先2: ○○○○受入場	民間	A指定処分	埼玉県浦和市○○4-4-4	1231	20	10土捨て	422,000 地山m <sup>3</sup>		0 地山m <sup>3</sup>	0%
浸漬土以外の泥土	0.000 地山m <sup>3</sup>				搬出先1: ○○○○受入場	民間								0 地山m <sup>3</sup>	0%
浸漬土 (建設汚泥を除く)	0.000 地山m <sup>3</sup>				搬出先2: ○○○○受入場	民間								0 地山m <sup>3</sup>	0%
合計	3945,000 地山m <sup>3</sup>	20,000 地山m <sup>3</sup>	0.000 地山m <sup>3</sup>									3025,000 地山m <sup>3</sup>	0.000 地山m <sup>3</sup>	2603 地山m <sup>3</sup>	86%

現場内利用があった場合は、前頁の2.建設資材利用実施にも必ず記入

品目毎の搬出先施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

選択間違いに注意

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材 4.その他

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他

コード\*12  
施工条件について  
1.A指定処分 (発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

コード\*13  
(建設廃棄物の場合)  
1.売却 2.他の工事現場 3.広域認定制度(アスファルト合材プラント) 4.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 5.中間処理施設(サーマルリサイクル) 6.中間処理施設(単焼却)

(建設発生土の場合) 距離は整数入力  
1.売却 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.土質改良プラント 5.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)  
6.探石場・砂利採取跡地等復旧事業 7.廃棄物最終処分場(掘土としての受入) 8.廃棄物最終処分場(掘土以外の受入) 9.土捨て場・残土処分場(再利用の目的がある場合)  
10.土捨て場・残土処分場(再利用の目的がない場合)

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。  
・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。